

## 児童発達支援事業保護者アンケートの結果について

令和4年11月に実施いたしましたアンケート評価の結果ご報告いたします。

いただいたご意見等をもとに、より良い支援が行えるよう努力して参りますので、引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。

事業所名 ひだまり北上中央

所長名 千葉昭好

### 環境・体制整備

利用登録数が4人ですが、概ねご理解をいただきました。

- ・事業開始から間がなく、実際の活動等に接する機会も少ないと思われます。
- ・生活・活動の空間を十分に確保できているとは言えませんが、別室での個別支援など工夫しながら行っています。

### 適切な支援の提供

概ねご理解をいただきました。

- ・目的、目標を掲げて取り組んでいますが、事業開始から間がなく経験も浅いことから、着眼点を整理し、今後に生かすための記録等を整備することで適切な支援を目指していきます。
- ・学童クラブ等との交流の機会は得られていませんが、その趣旨を日常の支援に生かしていきます。また、関係機関との連携を図り、保育所等訪問事業に取り組んでいます。

### 保護者への説明

- ・概ねご理解をいただきましたが、コロナ禍で保護者会との連携・支援について不明との評価がありました。
- ・おたより、法人広報、ホームページ・ブログ等を活用して一層の情報提供や説明に努めていきます。

### 非常時の対応

概ねご理解をいただきましたが、開始して間がないため具体的な評価想定が難しいと思われます。年少児の安全を確保するため、実際的な連絡や避難の訓練を行っています。また、訓練計画、マニュアル等は保護者に提示するとともに、マニュアル等は不断に見直していきます。

(保護者等の皆様へ)

この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	3				
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3				
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	3				
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3				
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3				
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	3				
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2			1	
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3				
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	3				

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	3				
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	3				
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3				
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2			1	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3				
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3				
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	3				
	非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	3			
21		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3				
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	3				
	23	事業所の支援に満足しているか	3				

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

## 児童発達支援アンケート評価結果について

令和4年11月に実施いたしましたアンケート評価の結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。頂いたご意見をもとに、職員一同より良い支援が行えるよう努力して参ります。今後も家族参加型イベントや家族向け学習会の開催等、事業所を挙げて取り組んでまいりますので、引き続きご愛顧いただきますようよろしくお願いいたします。

事業所名 ひだまり北上にこっと

所長名 島津 愛郎

### 環境・体制整備

子どもの活動等のスペース確保について、「確保されている」という意見と、「わからない」とのご意見を頂きましたので、いずれにしても別棟のプレイルームを活用し、狭く感じないように工夫してまいります。

職員の配置等について、「配置数や専門性は適切である」という意見と、「わからない」とのご意見をいただきましたので、引き続き職員の専門性やスキルアップをはかるために、共通のものを使った学びの機会等を増やし、学んで終わりではなく、保護者の皆様に発信できるよう努力してまいります。

生活空間については、子どもたちが心地よく過ごせるように活動内容に合わせて机の配置や部屋の使い方などを工夫しております。

### 適切な支援の提供

児童発達支援計画については、保護者との面談時に保護者のニーズや課題をお聞きし、職員からも意見を聞いた上でアセスメント内容に基づき客観的に課題を分析し作成しております。個々の支援計画に沿って子どもたちが出来るだけ多くの経験が出来るよう活動内容を工夫し、支援提供出来るよう努めております。

保育所等や障がいのない子どもとの交流や活動する機会については、コロナ禍のこともあり実施しておりません。

### 保護者への説明

運営規定や利用者負担、「児童発達支援計画」の支援内容については、今後も丁寧に説明しております。

保護者様からの子育ての悩み等に対する相談については、個々に面談するほか、送迎時や毎日の連絡帳を通して行っております。

保護者会の支援については、コロナ禍ですが、開催時には積極的に協力してまいりたいと考えております。

情報発信については、今後ともホームページや広報誌、月1回のブログやお便りを活用してまいります。

### 非常時の対応

今年度の避難訓練は、年間計画通り、火災、地震、風水害、AED 講習全てを実施しました。水消火器による消火訓練や防災 VTR、グループワークによる危険予知訓練など、ご利用者様に参加して頂くことで、より一層の防災意識を高める取り組みができたと感じております。おたよりやホームページで活動の様子をお伝えする機会を増やしていきます。

## 満足度

「子どもは通所を楽しみにしているか」については、100%の保護者様から評価をいただきました。

「事業所の支援に満足しているか」については、「どちらともいえない」という保護者様もいたのですが、今まで以上に活動により様々な経験を積むことはもちろんですが、余暇時間も充実できるよう努めてまいります。

(保護者等の皆様へ)

この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	1			1	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	1			1	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか			1	1	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	1			1	
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	1	1			最初の時と変わっている所がそのままになっている。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1			1	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	1	1			
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	1			1	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			1	1	
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2				
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	2				
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか				2	

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2			
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1	1		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			1	1
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1	1		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1	1		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1	1		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	2			
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	1	1		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1			1
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	2			
	23	事業所の支援に満足しているか	1	1		

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。